

2025 年 5 月 13 日
特定医療法人南山会

認知症医療の精神科医が講演 「2025 難聴万博」5/17 メタバース会場に登壇 適切な難聴対策で認知症回避を呼びかけ

「その人らしさをともに創造する」をビジョンに掲げ、精神医療や福祉サービスを提供する特定医療法人南山会（本社：山梨県南アルプス市、理事長：川崎洋介、以下「当法人」）は、NPO 法人みみトモランドが主催する「2025 難聴万博」のメタバース会場にて、2025 年 5 月 17 日に「難聴と認知症」をテーマとした講演を行います。

2025 難聴万博メタバース特別企画！！



峡西病院

×

2025 難聴万博

参加 無料

講演テーマ

「認知症のことを正しく知ろう ～人生100年時代の生き方～」

日時：5月17日（土）20：00～21：00

峡西病院で働いている看護師主催のイベント！！



理事長
川崎洋介先生

主催：NPO法人みみトモランド 協働：NPO法人人工聴覚情報学会 協賛：オーティコン補聴器 ダイアテックカンパニー メドエルジャパン株式会社
協力：メタバース制作 GHC株式会社 Visit Japan Metaverse ユニバーサルサウンドデザイン株式会社 後援：デジタル庁 一般社団法人日本補聴器販売店協会

■認知症を予防するためには難聴を放置せず、早めに補聴器などの対策を

超高齢化社会が本格化する日本において、難聴の高齢者も増えています。一般的に聴力は 40 歳代から低下する傾向があると言われており、65 歳を超えると、聞こえにくさを感じる人が急激に増え、75 歳以上では約半数の方が聞こえにくさを感じているとも言われています。難聴の影響は、危険察知能力が低下したり、家族や友人とのコミュニケーションがうまくいなくなるだけでなく、認知機能に影響をもたらす可能性もあるのです¹⁾。認知症は深刻な健康問題や社会問題のひとつとして注目されており、政府の統計によると、2022 年の認知症の患者数は 443.2 万人（有病率 12.3%）にのぼります²⁾。

近年、難聴と認知症に関連性が認められていることから、認知症を予防するためには難聴を放置せず、早めに補聴器などの対策を講じることが大切です。実際、中年期 45～65 歳で適切な難聴対策が

できれば認知症の 8% のリスク回避ができることも分かってきています。しかし、難聴者の中には「難聴の事実を受け止めたくない」、「補聴器が高額で購入できない」など、さまざまな理由により補聴器をつけたがらない人が少なくありません。

そこで、当法人の理事長であり、また精神科医として認知症医療に注力している川崎洋介が、「難聴万博 2025」のメタバース会場に登壇し、「認知症のことを正しく知ろう ～人生 100 年時代の生き方～」について講演を行います。

■難聴万博とは

「難聴万博」は、難聴医療の情報発信を目的として、2022 年から特定非営利活動法人人工聴覚情報学会が始めたイベントです。2025 年からは、日常的にメタバースを活用している難聴者のためのコミュニティ「NPO 法人みみトモランド」が主催で開催しています。難聴万博は、聴覚障害者福祉視点ではなく、難聴医療の専門家による正しい情報を得る場所です。難聴万博の主な参加者は難聴者や関係者のため、参加者を地域の医療機関や補聴器専門店などに繋ぐ役割も果たしています。

正式名称：2025 難聴万博

開催期間：2025 年 3 月 3 日～4 月 30 日、5 月 17 日（5 月は特別枠としてメタバース開催）

主催者、共催者など：

主催：NPO 法人みみトモランド

協働：NPO 法人人工聴覚情報学会

協賛：オーティコン補聴器（デマント・ジャパン株式会社）

ダイアテックジャパン株式会社

メドエルジャパン株式会社

協力：メタバース制作 GHC 株式会社 VisitJapanMetaverse

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 VUEVO

ユニバーサルサウンドデザイン株式会社

後援：デジタル庁

一般社団法人日本補聴器販売店協会

■講演概要

講演日時：2025 年 5 月 17 日 20 時から 21 時（講演時間 30 分、その他質問・交流など）

場 所：メタバース会場（URL：<https://www.spatial.io/s/2025Nan-Ting-Mo-Bo-NPOFa-Ren-mimitomorando-65813bedd1889db448eba128?share=5843128304719838515>）

みみトモランド HP からも見れます（<https://mimitomoland.com/nanntyou/activity-report/>）。

講演内容：「認知症のことを正しく知ろう ～人生 100 年時代の生き方～」

- ・認知症基本法って知っていますか～これからの人生の考え方～

人類が経験したことのない長寿社会

認知症の人と共生できる社会

- ・認知症の人の世界を感じる～認知症を正しく知る～

認知機能が低下するとどう感じるのか

認知症の人の思いと家族の思い

- ・できれば認知症にはなりたくない～認知症を予防する～

難聴が8%の認知症リスクがあるのはなぜ

睡眠・栄養・運動が認知症の予防に大切

- ・みんな幸せに生きていきたい～認知症でも幸せに生きる～

ウェルビーイングとは

高齢者の幸福感

講演者プロフィール：

特定医療法人南山会 理事長 川崎洋介



1993 年山梨県立甲府南高校理数科を卒業し、杏林大学医学部に進学した。2001 年大学卒業後に杏林大学医学部付属病院で研修を行っていく中で認知神経科学に興味を持ち 2003 年に杏林大学大学院医学研究科に進学した。博士論文は「99mTc-ECD SPECT 脳血流画像を用いた Mild Cognitive Impairment（軽度認知障害）の進行予測」という当時はあまり注目されていなかった軽度認知障害に着目した。2007 年大学院卒業後は特定医療法人南山会峡西病院に入社し、また杏林大学医学部付属病院でも外来診療を続け、2013 年より非常勤講師として学生の教育もおこなっている。2018 年特定医療法人南山会峡西病院の院長に就任し、2022 年に特定医療法人南山会の理事長に就任し現在に至っている。

- 1) 厚生労働省 「聞こえにくさ」感じていませんか？ 年齢との関係

<https://www.mhlw.go.jp/nanntyou/aging.html>

- 2) 内閣府ホームページ令和 6 年版高齢社会白書 2 健康・福祉

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/pdf/1s2s_02.pdf

■ 会社概要

【社名】 特定医療法人南山会

【設立】 1957 年 7 月 2 日

【代表】 理事長 川崎 洋介

【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421

【事業内容】

精神科病院 峡西病院

障害者地域活動支援センター きがる館

訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション

介護老人保健施設 峡西老人保健センター

就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム

【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

<お問い合わせ先>

特定医療法人南山会

TEL : 055-282-2151 (代表) 055-244-7715 (直通) FAX : 055-284-4886

担当 : 川口